

透析と共に生きる

長時間透析・在宅透析という選択肢

2026

7.3 (金)

18:00-19:30

先着30名
要申込・無料

会場 Idea Stoa (名古屋大学 NIC 1F)

ABOUT

透析になったら、もう終わりだ——。
世界有数の透析大国である日本で、そう感じている透析患者さんは少なくないかもしれません。

でも、本当にそうでしょうか？

名古屋大学では、長時間透析や在宅血液透析が患者さんの生活や予後にどのような影響をもたらすのかを研究しています。透析に時間を使うことは大きな負担ですが、あえて時間をかけることで、体調が安定し、食事を楽しみ、長く元気に過ごす手応えにつながることがあります。

今回は、研究者、医師、患者さん、それぞれの視点から、長時間透析・在宅血液透析という選択肢を考えます。透析や病気と共に生きる中での“幸せ”とは何か。透析に関わる方も、初めて知る方も、どなたでもお気軽にご参加ください。

GUESTS

今泉 貴広さん

名古屋大学 大学院医学系研究科 講師

菱田 学さん

医療法人偕行会城西病院 長時間透析室 室長

岡崎 雅樹さん

社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院 医師

鈴木 則子さん

長時間透析を選択した患者さん

大屋 竜二さん

20年以上在宅血液透析を続ける患者さん

詳細・お申込み

